

利用例

—ぼやあ樹での看取り支援—



小規模多機能ぼやあ樹では、毎月、地域の病院や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、介護老人保健施設など、さまざまな機関の皆様よりご相談をお受けしております。

そこで、実際にぼやあ樹へご利用となられたケースの中から、ぼやあ樹で看取り支援を実施した事例をご紹介します。



Aさん(85 歳 男性) キーワード【がん末期、老々介護】

【ポイント】本人・家族ともに自宅生活を希望。しかし、老々介護のため病気の治療も含め2人だけの在宅生活は困難。また、最期は病院ではなく、家族と誰かがいる所で安心して最期を迎えたいという本人・家族の希望からぼやあ樹へ相談となる。

	月	火	水	木	金	土	日
サービス	デイ	泊まり	泊まり	泊まり	泊まり	泊まり	泊まり
看取り支援内容	【ぼやあ樹】 - 同居の家族(妻)の不安もあり、基本的には週6日泊まりを利用され、週1日は夫婦で自宅での時間を過ごす。 【医療チーム】 - 訪問診療、訪問看護と連携し、在宅医療チームの確立により 24 時間連絡可能な安心できる体制を確保。 - 定期的な訪問に加え、必要時には臨時の訪問を実施。 (特に、本人から症状による痛みや不調の訴えがある場合には、薬による疼痛コントロールを実施) →最期は家族(妻)がそばで見守りのもと、ぼやあ樹にて看取りを実施。						



Bさん(80 歳 男性) キーワード【老衰、独居】

【ポイント】できる限りギリギリまで自宅で過ごしたいが、最期が一人は不安という本人の希望から、本人の症状に合わせた柔軟なサービス展開が必要となり、ぼやあ樹へ相談となる。

	月	火	水	木	金	土	日
サービス	デイサービス	訪問	訪問	デイサービス	訪問	訪問	訪問
医療サポート内容	【ぼやあ樹】 - 週2回 デイサービスにて入浴支援 / 週5回(1日2回) 訪問サービスにて安否確認、服薬確認、配食を実施。 【医療チーム】 - 訪問診療、訪問看護と連携し、在宅医療チームの確立により 24 時間連絡可能な安心できる体制を確保。 - 定期的な訪問に加え、必要時には臨時の訪問を実施。 →最期は本人と主治医の判断によりぼやあ樹での泊まりを数週間利用後、ぼやあ樹にて看取り支援を実施。						



ぼやあ樹のお看取り支援では、本人の体調にそって、デイや泊まりのサービスを柔軟に調整するとともに、本人・家族が少しでも安心して過ごせる場となるよう、**生活支援(食事・排泄・入浴・活動等)含め、本人の“〇〇したい”に寄り添うケア**を実施します！